

2014年4月17日

## 『北京+20』に向けて—第58回国連婦人の地位委員会 (CSW)

### 及び国際的な潮流—聞く会」

北京 JAC (世界女性会議ロビイングネットワーク) 船橋邦子

#### 北京 JAC の紹介

北京世界女性会議を契機に、同会議の会期中に女性議員や NGO の働きで行われた日本政府のブリーフィング参加者を中心に、ロビイング団体として発足しました。北京 JAC には全国に地域コーカスとよばれる 9 グループ および女性国会議員の議員コーカスがあり、ネットワークとして活動してきました。主な活動として「北京行動綱領と男女共同参画基本計画に基づいて政府や自治体への提言を行っています。毎年、地域コーカスとの連携で全国各地で全国シンポジウムや研修セミナーを開催し、地域の課題を盛り込んだ要望書を男女共同参画局や関係部局に提出する活動も行っています。

#### 国際的動向に呼応した北京 JAC の活動と今後の課題

当初、北京 JAC 発足以来、北京行動綱領を実現するために、国内本部機構 (ナショナル・マシナリー) の改革・強化、および女性に対する暴力根絶にむけた法制度の確立を目標としてきました。それは内閣府男女共同参画局、および配偶者暴力防止法として実現しました。しかしながら、総合的、横断的に男女共同参画政策を国内で推進する権限を男女共同参画局が充分にもっているとは残念ながら言えません。また、配偶者暴力防止法によって被害者の救済に大きな力を発揮しているが、経済的自立や背景にある構造的差別の解消に向けてはまだ多くの課題がのこされていますし、性暴力禁止法の制定は実現されていません。CSW においても女性と女兒に対する暴力の根絶はグローバルな課題として掲げられていますが、私たちも国際的な動きに呼応して日本においても、さらに構造的暴力の撤廃に向けた運動を続けて行きたいと思えます。

また、北京 JAC としては、北京行動綱領とミレニアム開発目標の最優先課題とされている女性と貧困についても学習会などで取り上げてきました。従来、このテーマは開発途上国における問題として認識されてきましたが、現在では国内においても、高齢女性やシングルマザー、若年女性の貧困問題は、女性差別の問題として見過ごせない問題となっています。

今年は、北京行動綱領および第 3 次基本計画の中で実現出来たこと、実現出来なかったこと、実現できなかった阻害要因などを地域コーカスのメンバーと共に学習すると同時に、NGO として検証していく予定です。